ＨＩＤヘッドランプキット取扱説明書

Absolute Co.,Ltd.
〒259-1141 神奈川県伊勢原市上粕屋839-1
ＴＥＬ：0463-91-1321

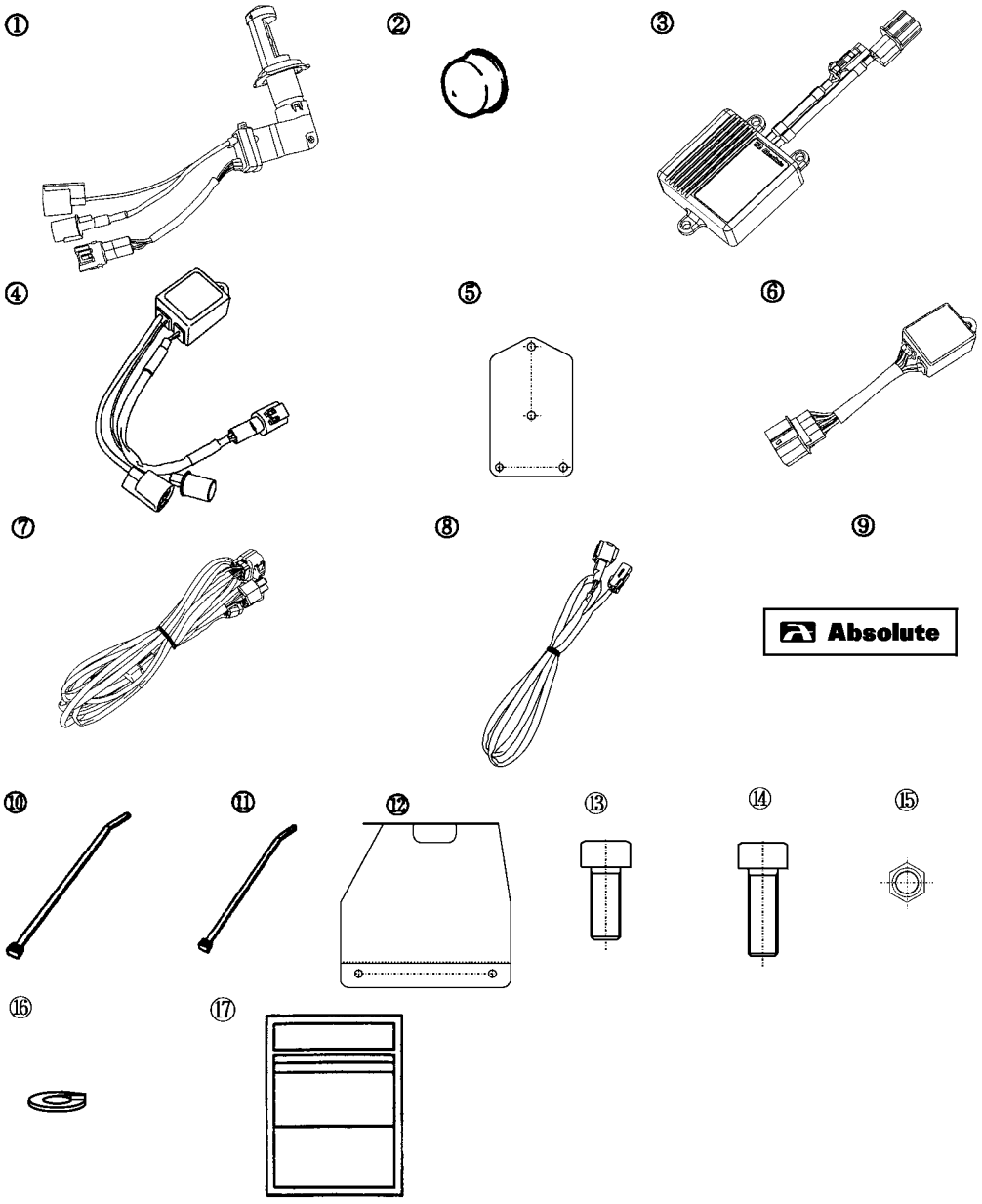
KAWASAKI ZEPHYER1100

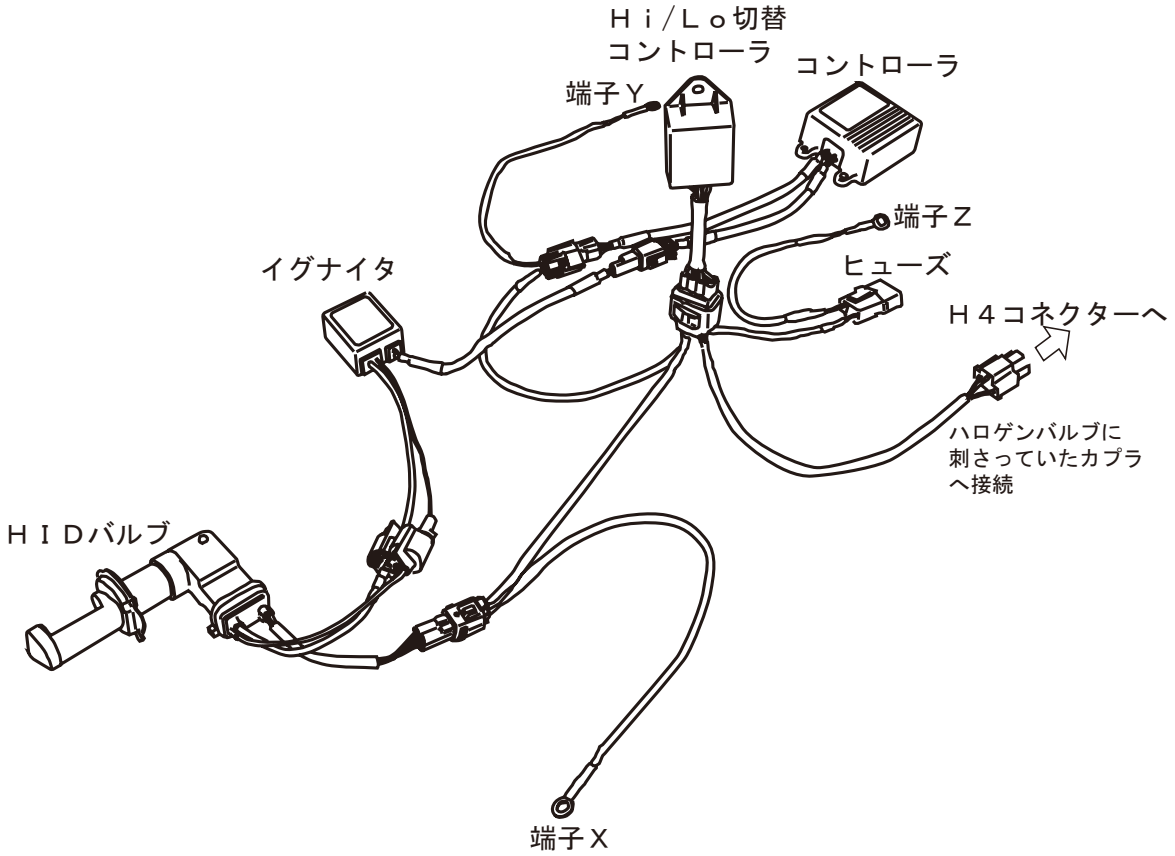
この度はAbsolute製ＨＩＤヘッドランプキットをお買い上げいただき
ありがとうございます。まず内容物の確認をして下さい。

※コントローラはボディーアースの構造になっていますので取付前には必ずバッテリーのマイナス端子を外してから作業にとりかかって下さい。

構成部品（取付作業の前に必ず構成部品の確認をして下さい）

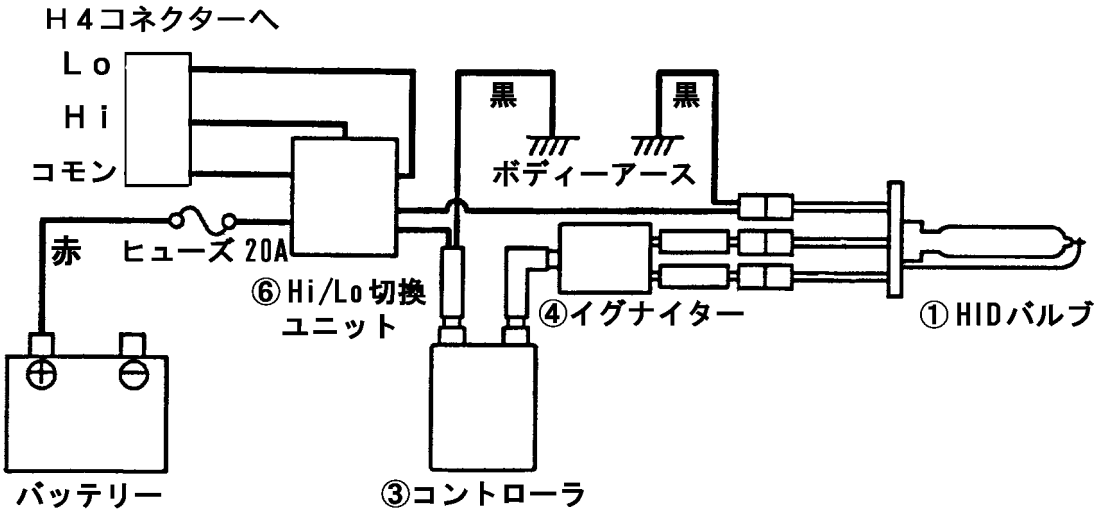
No.	部品名称	数量	No.	部品名称	数量
①	**ＨＩＤバルブ**	1	⑩	**タイラップ（白）**	1
②	**キャップ**	1	⑪	**タイラップ(黒)**	6
③	**コントローラ**	1	⑫	**コントローラブラケット**	2
④	**イグナイター**	1	⑬	**M5 ボルト　L 15**	2
⑤	**イグナイターブラケット**	1	⑭	**M5 ボルト　L 20**	1
⑥	**Hi/Lo 切換ユニット**	1	⑮	**M5 ナット**	3
⑦	**ハーネスＡ**	1	⑯	**ワッシャー式**	1
⑧	**ハーネスＢ**	1	⑰	**取扱い説明書**	1
⑨	**ステッカー**	1			

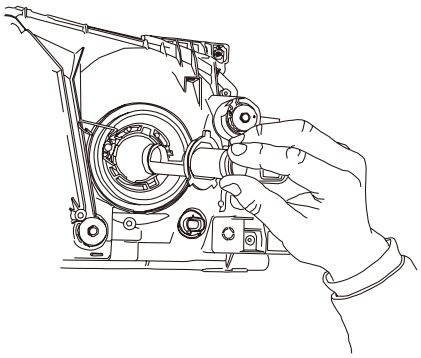




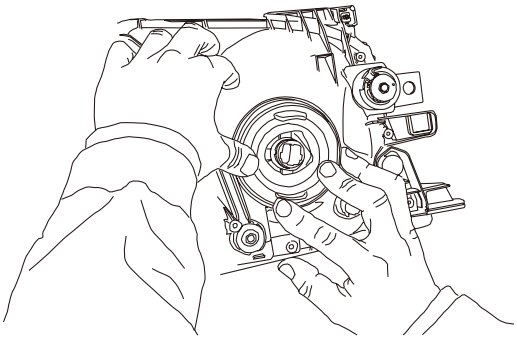
結線方法を上図に示します。
コントローラ及びＨｉ/Ｌｏ切換コントローラは次項を良くお読みになりお取り付け下さい。図中「Ｈ４コネクターへ」のコネクターはＨＩＤ装着前にハロゲンバルブに刺さっていたコネクターと接続します。
結線方法図中のＸ、Ｙ及びＺの丸端子は後の説明で使用します。

配線図も下図に示します。ご参考にして下さい。

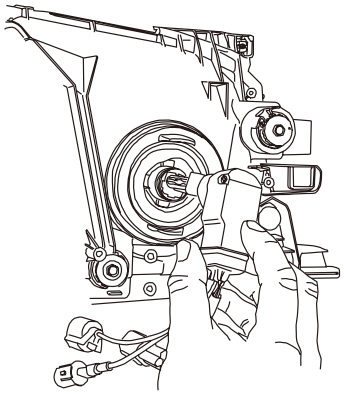




ＨＩＤバルブの先端部分をハロゲンバルブを交換します。



ハロゲンバルブに刺さっていたゴムのグロメットを丁寧に挿入します。



ＨＩＤバルブの本体をバルブの折損に注意しながら先端部分に挿入します。

ゴムキャップは左写真のように穴開けしてから取り付けて下さい。

ライトユニットを取り外しヘッドライト後部の中心部（左写真参照）にφ 30 以上の穴をあけます。

※穴あけ位置はライトユニットを組み合わせて位置決めして下さい。

付属のイグナイターブラケットにイグナイターをタイラップ（白）で取付、タンク下のスペースに取り付けます。
（左写真参照）

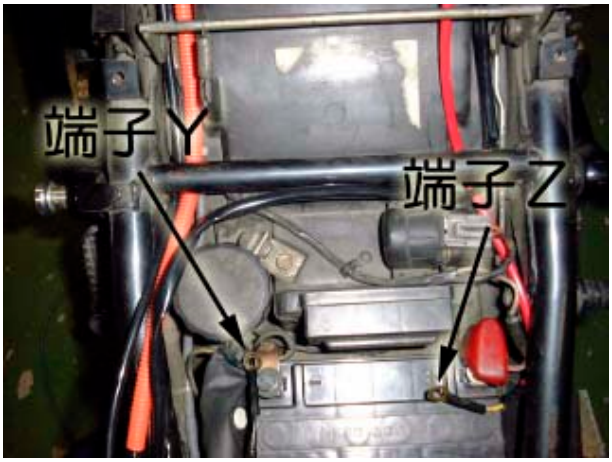
コントローラブラケットにコントローラ及びＨｉ／Ｌｏ切替コントローラを左写真のように取付けます。

組み立てたコントローラブラケットを車体後部のスペースに取り付けます。
矢印部の２本のボルトを使用して固定して下さい。

コントローラ及びＨｉ／Ｌｏ切替コントローラの配線は左写真のように引き出します。

２項の結線図を参照しながら車体にハーネスＡ及びＢを配線します。
（詳細は以下参照）

端子Ｘ（２項参照）をフレーム右側のコイルと共締めします。。



端子Ｙ（２項参照）をバッテリーのマイナス端子、端子Ｚ（２項参照）バッテリーのプラス端子に確実に固定します。
※バッテリーへの取付は短絡に十分注意してください。

コネクターを接続してＨＩＤバルブを折損しないようにヘッドライトユニットを慎重に組み立てます。**※強引に押し込むとバルブを破損します。組み立て時は配線を整理して組み立てましょう。**

２項の結線図を参照しながら配線をチェックします。間違いが無ければハンドルを左右に振り、配線に悪影響が無いかチェックします。影響がある場合はタイラップなどで適宜配線の取り回しを変更します。
以上で取付は完了です。
※ヘッドライトユニットを取り外していますので光軸の調整を必ず行ってください。

注意事項

バルブユニットには手で触れたりして汚さないで下さい。
汚れた場合は脱脂洗浄剤で洗浄後使用して下さい。

電源は極性を間違えていないか確認してから通電して下さい。
極性を間違えて通電すると**コントローラが破損します。**

イグナイタ以降のラインでは電圧が１万５千ボルトに昇圧されます。**接続しない状態では通電を開始しないで下さい。**

ＨＩＤバルブ、点灯回路及び部品の改造は絶対行わないで下さい。また、車両用ヘッドランプ以外の目的で使用しないで下さい。

点灯中は点灯回路及びコード類にむやみに触れないで下さい。**感電の危険があります。**

車両事故等によりコードが断線、コネクタが外れる等の場合に、ランプの点灯スイッチをＯＮにすると放電が発生します。危険ですからランプを破損したとき等は点灯はさせないで下さい。**火災、感電の危険があります。**

バルブの廃却は割ったりせずに不燃物扱いとして処理して下さい。

取付作業上の注意

バッテリーのマイナスケーブルを外してランプの装着を、交換を行って下さい。
感電の危険があります。

コネクタが確実に接続されている事を確認して下さい。**中途半端な接続は故障の原因になります。**

バルブ及び回路を取り扱うときは、コード類に傷を付けないようにして下さい。**感電の危険があります。**

バルブ交換時は、必ず点灯スイッチをＯＦＦにしてバルブの熱を十分に冷ましてから交換して下さい。**やけどをする危険があります。**

バルブの装着はホルダーに確実に固定して浮くことのないようにして下さい。**配光不良の原因となります。**